

第27期第2回東大和市立公民館運営審議会 会議要録

- 1 日 時 令和5年7月20日(木) 午後2時～4時
- 2 場 所 東大和市立中央公民館 視聴覚室
- 3 委 員 (出席者) 佐々木会長、増本副会長、浜田委員、津嶋委員、若野委員、相澤委員、新井委員
橋本委員、香野委員
(欠席者) 岩崎委員、豊田委員
- 4 事務局 (出席者) 伊藤中央公民館長、富田事業係長、内藤南街公民館長、森田狭山公民館長
宮田蔵敷公民館長

5 傍聴人 1人

- 6 次 第 (1)審議事項
 - ①公民館運営審議会ハンドブックについて
 - (2)報告事項
 - ①当年度当初予算の概要について
 - ②令和5年度実施事業(予定)について
 - (3)その他

7 会議資料

- ・第27期第2回会議次第
- ・令和5年度中央公民館における特徴的な事業(新規・レベルアップした事業)
- ・別紙(「学びあいガイド(行政による生涯学習案内)」より)
- ・あすなろだより(蔵敷)

8 議事要旨

(1)審議事項

①公民館運営審議会ハンドブックについて

・平成25年作成の現行ハンドブックの構成、作成経緯、および項目(法的根拠、委員の役割、社会教育委員との違い等)について詳細な説明が行われた。

その後、全委員を2つのグループに分け、改訂に向けた意見交換を実施し、各グループから以下の意見が出された。

(Aグループからの主な意見)

- ・作成から10年が経過し内容が古く、特に引用文献の表現が現代に合わないため、より分かりやすい言葉に修正する必要がある。条例、組織図、関連団体の情報など、更新が必要な箇所が多い。
- ・掲載事業(例:公民館まつり)の現状を反映させるなど、内容の精査が必要である。

(Bグループからの主な意見)

- ・表現の古さは否めず、5年・10年先を見据えた現代的な言葉遣いへの変更を強く求める。内容の約3割は現状に合致していない印象である。
- ・専門的な内容を維持しつつも、より平易で分かりやすいハンドブックを目指すべき。場合によっては2部構成も検討してはどうか。

(審議の結果)

第27期中にハンドブックの改訂版を作成することについて、全会一致で合意し、進め方として、事務局が次回会議に向けて改訂の原案を作成する。

各委員は今回の議論を踏まえ、具体的な修正案(例:「このページのこの表現をこう変えたい」等)を各自で検討し、次回会議に持ち寄る。

(2)報告事項

①当年度当初予算の概要について

令和5年度の予算規模と公民館関連予算について説明した。

本予算は、IT化（Wi-Fi 設置）の進捗として、前回答申で要望した Wi-Fi 設置の予算化について質問があり、現在、政策的経費として市内部で折衝中であり、令和6年度の設置を目指し要望を上げている段階と説明した。
・歳出総額：7,145万1千円（前年度比302万円増）。主な増額要因は、近年の光熱費高騰を反映させたもの。

・特徴的な事業：中央公民館において、老朽化した高架水槽方式の給水設備を配水管からの直結給水方式に改める改修工事を秋以降に実施予定。

②令和5年度実施事業（予定）について

5館合同事業（夏休み☆みんなでつくる遊空間等）および各公民館（中央・南街・狭山・蔵敷・上北台）の令和5年度事業計画について、各館長より説明・報告がされた。

次回会議予定：令和5年9月28日(木) 午後2時～ 中央公民館 301学習室